

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400143		
法人名	有限会社ジュコウ		
事業所名	あったか広場一会 2階ユニット		
所在地	静岡県島田市東町1116		
自己評価作成日	令和2年7月15日	評価結果市町村受理日	令和2年10月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&JigyosyoCd=2295400143-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和2年8月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所の理念でもあります「一期一会」を大切に利用者様だけでなく地域の方々一人ひとりにも多くの人に認知症の予防や啓発ができるよう認知症サポーター養成講座はもちろん認知症カフェや島田市独自で行っている介護予防「しまトレ」を開催し、地域に密着した活動を今後も継続し全力で取り組んでいきます。事業所研修や外部講師による研修、外部講習への参加等を積極的に研修を実地し職員の質の向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ対策は面会自粛とともに職員が自制する点もルール化され、家族からも「メリハリよく実施され、安心している」と評価を得ています。外には出れないため、らっきよを漬けたり、梅ジュースをつくって暑さをしのいだり、現在はぬか床の準備を進めています。畑は暑さにもコロナにも負けず順調で、じゃが芋、玉葱、シソ、サツマイモと次々と実り、「外にでれなくても中でもっと楽しんでもらえる生活」を目指す現在の事業所の元気の素となり、調理レクリエーションで畑の野菜が活躍しています。また、家族とは電話で会話をもってもらい、チェーン店の人気メニューをテイクアウトして楽しむ機会を増やすなど、ストレスがたまらないよう支援しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全体会議・フロア会議において地域密着型サービスの意義・理念について話し合い実践につなげている	理念は象徴として、また行動指針が具体的な目安として在ります。理念・行動指針に照らして身だしなみ等の指導がおこなわれ、施設長や管理者の発言には理念が反映されています。	理念、行動指針の実践を振り返る機会があると、なお良いと思います。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	認知症カフェ、しまトレ実施しヘルストロンを無料開放し事業所自体交流していたが、コロナウイルスの影響で出来ていないのが現状である	地域へのヘルストロンの提供は1月から、また階下の小規模多機能事業所で週1回開催していた「しまトレ」も7月から休止していますが、地域の役に立ちたい気持ちを持ち続け、問い合わせには丁寧に対応しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェ・しまトレに招待し参加していたがコロナウイルスの影響で出来ず9月再開をめぐりに地域包括支援センターと話し合っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営委員会開催により利用者状況や行事または解決すべき課題を報告しサービス向上、地域密着サービスに活かしています	運営推進会議は2月の通常開催はできましたが、以降4月、6月は外部者を加えず所内開催とし、職員数名で現状を話し合って議事録にまとめ、行政窓口へ提出しています。今回のことで地域からの情報の貴重さを改めて実感しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市とはできる限り連携を図っておりサービスの取り組みを伝えている	地域包括支援センター、市役所には都度相談できています。これまでやってきたことが現在できにくくなっていますが、来月には認知症サポーター養成講座の開催における講師依頼が入っていて、少し光明が見えています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会で話し合い身体拘束ゼロの介護を目指し取り組んでいる	身体拘束廃止未実施減算に係る身体拘束廃止委員会並びに研修会、新入社員の教育を実施しています。委員会では「ベッドを壁付けにしての2点柵はいかがなものか」などの事例検討や、人為的工夫が話し合われ、着実に取り組んでいることが確認できます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は高齢者虐待防止関連法について事業所内外にて研修に参加し意識に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する外部研修に参加し成年後見制度について学ぶ機会を持ってました		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時及び契約後に関しても入所者及びご家族に対して疑問があればその都度対応を行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。ご家族へ3ヶ月に1度手紙にてご本人の様子を伝えています	家族面会は3月後半から自粛、5月に1度解除として1回15分と時間制限を設け、1階の地域交流室で再開しましたが、再び自粛中です。致し方なく電話やリモートも駆使し、書面で様子も届けています(3ヶ月に1回)。	コロナで会えなくなっており、遠方の家族もいますので、現在の3ヶ月を縮め、利用者本人の様子を書面で1ヶ月毎に届け、安心の体制を築くことを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月第2火曜日にフロア会議を行い話し合っています	1度退職、他事業所を経験して戻ってきた職員もいることから比較的働きやすいことが受けとめられます。代表者、施設長、管理者も口を揃えて「職員の意見を100%反映している」として、風通しの良い職場環境にあります。	家族アンケートから「報連相は課題」という事が上がっています。家族から上がる前に職員の話し合いにのぼり、改善策を考えることができる職場になることを期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	リーダーを中心に指導と現状把握を行っています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を行い、アセッサー等により知識や技術の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流がコロナウイルスにより思うように図れなかったが、ネットワークが作れているのでお互いに助け合っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生活内容等家族より確認し、細かなサービスの提供に心がけています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人又はご家族より今までの生活状況などを確認しケアに活かしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の意思、家族からの情報を基に相談に応じています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人と一緒に買い物へ出かけたり洗濯たたみ等を一人一人出来ることを見つけ共に生活する関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	レクや買い物、日々の掃除等を通じて共に支え合う関係を築いています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウイルスにて面会制限している中、ご家族様と電話で話したりタブレットにてメール会話が出来るよう支援しています	階下での「しまトレ(地域の皆さんも集まる転倒予防の取組み)」に自然に加わることもあり、趣味の詩吟の披露を職員が心待ちにしている人、絵画を続ける人、花が大好きなので家族が定期的に花を送ってくれ、自室のほかフロアにも活かしてくださる人もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人一人を把握し利用者同士関係が悪くならないよう必要に応じて席替えを行っています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後の経過をお伺いしたりご家族からの問い合わせ等に対する支援に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できる限り一人一人の思いや暮らし方について対応できるよう話を伺い買い物や食事、受診でご家族と外出時には、外食の機会を作るよう対応しています	コロナ禍で外に出ることがないため、これまで申し送りノート等に溜めた意向を厚く支援しています。カップケーキやミートソースづくりなどの調理レクリエーションでストレスを発散してもらったり、片づけ魔の人はマイほうきで身体を動かすことにつながっています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご本人やご家族から情報収集させていただきサービス提供に活かしています。自宅の時の環境に近づけたいので自宅で使用していた物を持ってきていただいています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態観察やご家族様からの情報収集と経過報告をし現状の暮らしの把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開催しご本人、ご家族の意向を聞きフロア会議にて職員と話し合い計画作成しています	各ユニットの計画作成担当者が中心となり、カンファレンスとモニタリングを重ねて介護計画書を作成、2表サービス内容には主治医や家族の名前も入っており、コロナ禍となる前は面会で「補充説明」をおこない、「チームでつくる～」を実現しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録、排泄、日報申し送り等の記録を充実させ情報の共有を図り実践に活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院への送迎等はサービスの多機能化に取り組み実施しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	敬老会にて太鼓の演奏を依頼したり地域の方々に協力していただきご本人が楽しむことができるよう支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連携を図りご本人、ご家族の希望を尊重し支援しています	協力医にかかる3名以外は在宅の頃からのかかりつけ医を継続しています。他県に住む家族の通院介助は受けられないため、職員が代行することとし、医療記録は「受診記録」並びに「利用者様の近況報告」に記載のうえ、情報共有が成されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に看護師がおり状況を伝え相談しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な訪問、入院時の介護サマリーを作成し医療との連携を図っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、ご家族の意向を伺い主治医の意見を踏まえてチームとして支援に取り組んでいます	「孫を会わせたい」「会うまでは意識があってほしい」との家族の要望に応え、職員総出で声掛けした例もあり、開設以来2名のお見送りをおこなっています。コロナ禍における救急搬送や看取りはどのようになるのか、家族・職員共に不安が残ります。	コロナ、インフルエンザ、疥癬などの渦中に看取りとなった場合の対応について整備のうえ、方針を明確にしておくことを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを定期的に確認しAEDの操作確認など実践力を身につけるようにしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を実施し(特に夜間帯での訓練)災害時の対応や方法などを確認し日常点検に努めています	課題としていた夜間想定は本年度実施が叶い、避難時間の計測も続けています。非常階段をつかって徒歩で外に出るのに20分はかかるため、どのような方法がより安全なのか、未だ模索中です。備蓄は3日分、ローリングストックも含めれば6日分はあります。	コロナ禍で地域の人を交えた訓練もできかねる状況を逆活用し、机上訓練や備蓄及び備蓄一覧の見直しなどの実施も一考ください。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重した声かけ、プライバシーに配慮しての入浴、排泄に気をつけています。又状況により同性による介助を行っています	親しさが増して「ちゃん」呼びしてしまう職員には、その都度、施設長や管理者が注意しているため、利用者に「また言われたね」とこぼされる事もあります。パソコンはパスワードで管理され、書面廃棄年数も定まっており、プライバシー保護も順守しています。	素で振る舞う職員が増えてしまうと収拾がつかなくなる怖れもあるため、適切な言葉遣いや立居振舞いについて一層の振り返り機会を設けることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が自己決定出来るよう個別に関わり支援を行っています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必ずご本人に確認し本人のペースでお過ごしになりたいようにご希望に添えるよう対応しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え等は希望を聞き、ご本人に選択していただいております。また理美容への依頼等支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	週1回メニューを決める際ご本人の意向を取り入れたメニュー作成を行っています	「季節の食材を入れる」こととともに「利用者のリクエストに応える」ことを旨としており、はんぺんフライと丼もの、ちらし寿司、カレーはやや出番が増えてまいります。外出が減っているため、最近はお好み焼きやBBQといった参加型のメニューにも凝っています。	検食簿は「よかったこと」に加え、「向上点」を入れて、さらに喜ばれる食事となることを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記入し把握に努めています。月1回体重測定をし健康管理に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施し、ご本人の状態の合わせて歯ブラシまたはスポンジブラシを利用しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	安易に紙おむつを使用せず排泄チェックシートを各々用意し排泄リズムを把握、トイレ誘導、声かけを行っています	独歩でトイレに行けてもすべてを自身でおこなえる人はいないため、拭き残しには陰洗したり、パットをまるめてしまう人には見守り、また続くようならテーブル式も検討する等状況を排泄チェック表とともに掴んで、「できるだけトイレ」を目指して支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状態を把握記入し排便がない場合水分、食事等で調整、歩行訓練等で腸管運動をしています。それでも出ない場合は医師、看護師の指示にて内服薬にて調整しています、		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人一人の身体、皮膚状態に合わせて個浴や機械浴を決め週3回を目安にご本人に合った入浴を支援しています	8種類もの浴剤を用意しており、「一番風呂がいい」「今は嫌、あとで入る」「男の人が入った後はイヤ」といった要望にも応え、状態や意向によっては足浴、シャワー浴、清拭などサービス変更もスムーズにおこなっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況に合わせて足浴、シャワー浴をしていたりよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬のミスが無いよう二人体制で確認及び日報にチェック確認欄を作成し必ず看護師が管理し介護職員が服薬ミスが無いよう行っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に役割を持って生活していただけるようご本人と話し合い居室内の片付け、しまトレへの参加などの役割や楽しみ事への支援を行っています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節感を感じていただけるような外出レクを計画し、室内でも出来る母の日、父の日お祝いを計画し利用者様から申し出があった場合買い物等の支援を随時行っています	これまでは蓮華寺池公園、焼津さかなセンター、可睡齋のひな祭り等、地域に出向いて外食との外出レクリエーションが盛んでしたが、「降りない、出ない」ドライブや散歩に重きを置き、テイクアウトパーティーをはじめ室内レクを充実させています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望により少額入った財布をご本人に管理していただいています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の入居者様は、携帯やタブレットを所持していただき電話やメールが出来るように支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた掲示物を展示し季節感を感じていただき、共有部、各部屋の掃除を利用者様に手伝っていただき居心地よう過ごせるよう支援しています	外出できない分「季節を感じてもらおう」と、折り紙を使った花火の壁画を飾ったり、外出した時の写真を貼りだしています。コロナ対策の清潔・掃除の徹底とともに、職員は県外外出やパチンコ店等密の場の出入りを控える等のルールが徹底されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間だけでなく地域交流室等一人一人の空間取りに工夫しています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用されていた物を持ってきていただき心地よく過ごされるよう支援しています	チェストの上にテレビ、冷蔵庫の上には植物を並べた居室には小物も多く、化粧水やティッシュが置かれ、まるで女子大生が住んでいるかのようです。枕元に目覚まし時計を置き、アクティビティで制作した作品を掲示している部屋もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	テーブルや椅子、浴室、トイレ等安全に配慮し個々に応じた環境作りに務めております		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400143		
法人名	有限会社ジュコウ		
事業所名	あつたか広場一会 3階ユニット		
所在地	静岡県島田市東町1116		
自己評価作成日	令和2年7月15日	評価結果市町村受理日	令和2年10月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2018_022_kami=true&JigyosyoCd=2295400143-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和2年8月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所の理念でもあります「一期一会」を大切に利用者様だけでなく地域の方々一人ひとりにも多くの人に認知症の予防や啓発ができるよう認知症サポーター養成講座はもちろん認知症カフェや島田市独自で行っている介護予防「しまトレ」を開催し、地域に密着した活動を今後も継続し全力で取り組んでいきます。事業所研修や外部講師による研修、外部講習への参加等を積極的に研修を実地し職員の質の向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ対策は面会自粛とともに職員が自制する点もルール化され、家族からも「メリハリよく実施され、安心していい」と評価を得ています。外には出れないため、らっきよを漬けたり、梅ジュースをつくって暑さをしのいだり、現在はぬか床の準備を進めています。畑は暑さにもコロナにも負けず順調で、じゃが芋、玉葱、シソ、サツマイモと次々と実り、「外にでなくても中でもっと楽しんでもらえる生活」を目指す現在の事業所の元気の素となり、調理レクリエーションで畑の野菜が活躍しています。また、家族とは電話で会話をもってもらい、チェーン店の人気メニューをテイクアウトして楽しむ機会を増やすなど、ストレスがたまらないよう支援しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全体会議・フロア会議において地域密着型サービスの意義・理念について話し合い実践につなげている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	認知症カフェ、しまトレ実施しヘルストロンを無料開放し事業所自体交流していたが、コロナウイルスの影響で出来ていないのが現状である		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェ・しまトレに招待し参加していたがコロナウイルスの影響で出来ず9月再開をめぐりに地域包括支援センターと話し合っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営委員会開催により利用者状況や行事または解決すべき課題を報告しサービス向上、地域密着サービスに活かしています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市とはできる限り連携を図っておりサービスの取り組みを伝えている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会で話し合い身体拘束ゼロの介護を目指し取り組んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は高齢者虐待防止関連法について事業所内外にて研修に参加し意識に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する外部研修に参加し成年後見制度について学ぶ機会を持ってました		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時及び契約後についても入所者及びご家族に対して疑問があればその都度対応を行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。ご家族へ3ヶ月に1度手紙にてご本人の様子を伝えています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月第2火曜日にフロア会議を行い話し合っています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	リーダーを中心に指導と現状把握を行っています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を行い、アセッサー等により知識や技術の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流がコロナウイルスにより思うように図れなかったが、ネットワークが作れているのでお互いに助け合っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生活内容等家族より確認し、細かなサービスの提供に心がけています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人又はご家族より今までの生活状況などを確認しケアに活かしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の意思、家族からの情報を基に相談に応じています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人と一緒に買い物へ出かけたり洗濯たたみ等を一人一人出来ることを見つけ共に生活する関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	レクや買い物、日々の掃除等を通じて共に支え合う関係を築いています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウイルスにて面会制限している中、ご家族様と電話で話したりタブレットにてメール会話が出来るよう支援しています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人一人を把握し利用者同士関係が悪くならないよう必要に応じて席替えを行っています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後の経過をお伺いしたりご家族からの問い合わせ等に対する支援に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できる限り一人一人の思いや暮らし方について対応できるよう話を伺い買い物や食事、受診でご家族と外出時には、外食の機会を作るよう対応しています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご本人やご家族から情報収集させていただきサービス提供に活かしています。自宅の時の環境に近づけたいので自宅で使用していた物を持ってきていただいています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態観察やご家族様からの情報収集と経過報告をし現状の暮らしの把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開催しご本人、ご家族の意向を聞きフロア会議にて職員と話し合い計画作成しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録、排泄、日報申し送り等の記録を充実させ情報の共有を図り実践に活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院への送迎等はサービスの多機能化に取り組んで実施しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	敬老会にて太鼓の演奏を依頼したり地域の方々に協力していただきご本人が楽しむことができるよう支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連携を図りご本人、ご家族の希望を尊重し支援しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に看護師がおり状況を伝え相談しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な訪問、入院時の介護サマリーを作成し医療との連携を図っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、ご家族の意向を伺い主治医の意見を踏まえてチームとして支援に取り組んでいます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを定期的に確認しAEDの操作確認など実践力を身につけるようにしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を実施し(特に夜間帯での訓練)災害時の対応や方法などを確認し日常点検に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重した声かけ、プライバシーに配慮しての入浴、排泄に気をつけています。又状況により同性による介助を行っています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が自己決定出来るよう個別に関わり支援を行っています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必ずご本人に確認し本人のペースでお過ごしになりたいようにご希望に添えるよう対応しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え等は希望を聞き、ご本人に選択していただいております。また理美容への依頼等支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	週1回メニューを決める際ご本人の意向を取り入れたメニュー作成を行っています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記入し把握に努めています。月1回体重測定をし健康管理に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施し、ご本人の状態の合わせて歯ブラシまたはスポンジブラシを利用しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	安易に紙おむつを使用せず排泄チェックシートを各々用意し排泄リズムを把握、トイレ誘導、声かけを行っています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状態を把握記入し排便がない場合水分、食事等で調整、歩行訓練等で腸管運動をしています。それでも出ない場合は医師、看護師の指示にて内服薬にて調整しています、		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人一人の身体、皮膚状態に合わせて個浴や機械浴を決め週3回を目安にご本人に合った入浴を支援しています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況に合わせて足浴、シャワー浴をしていただくよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬のミスが無いよう二人体制で確認及び日報にチェック確認欄を作成し必ず看護師が管理し介護職員が服薬ミスが無いよう行っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に役割を持って生活していただけるようご本人と話し合い居室内の片付け、しまトレへの参加などの役割や楽しみ事への支援を行っています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節感を感じていただけるような外出レクを計画し、室内でも出来る母の日、父の日お祝いを計画し利用者様から申し出があった場合買い物等の支援を随時行っています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望により少額入った財布をご本人に管理していただいています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の入居者様は、携帯やタブレットを所持していただき電話やメールが出来るように支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた掲示物を展示し季節感を感じていただき、共有部、各部屋の掃除を利用者様に手伝っていただき居心地よう過ごせるよう支援しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間だけでなく地域交流室等一人一人の空間取りに工夫しています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用されていた物を持ってきていただき心地よく過ごされるよう支援しています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	テーブルや椅子、浴室、トイレ等安全に配慮し個々に応じた環境作りに務めております		